

添付法令資料 3 :

ロシア連邦法令ニュースレター ～有限責任会社の代表取締役の責任について～

ロシア連邦における有限責任会社の代表取締役は、どのような責任を負う可能性があるのだろうか。以下に、関係法令を取りまとめ、解説することとしたい。

有限責任会社に関する連邦法律（1998年2月8日付の第14-FZ号）第44条第1項によれば、会社の単独執行機関（代表取締役）は、その権限の行使及び義務の履行に際して会社の利益のために誠実かつ合理的に行動しなければならない。

代表取締役は、会社の単独執行機関として、連邦法律に別段の定めがない限り、その過失（作為又は不作為）により会社にもたらされた損失につき、会社に対して損害賠償責任を負う。また、ロシア連邦民法典第53.1条第1項によれば、法人を代表又は代理する者は、その者が代表又は代理する法人のために誠実かつ合理的に行動しなかった場合（その者の作為又は不作為が民事取引の通常条件又は一般的な企業活動上のリスク（обычные условия гражданского оборота или обычный предпринимательский риск）の範囲を逸脱した場合を含む）、法人に与えた損害を賠償しなければならない。

なお、有限責任会社の出資者は、会社の債務について責任を負わず、払い込んだ出資額の範囲内で会社の事業に係る損失の危険を負担するにとどまる（ロシア連邦民法典第87条第1項）。

さらに、会社の代表取締役は、下記に該当する行為について、行政法上・刑法上の責任を負う。

記

消費者保護に関する違法行為（行政的違法行為に関するロシア連邦法典第14.7条）

衛生に関する違法行為（行政的違法行為に関するロシア連邦法典第6.3条）

外国人労働者の就労に関する入管法違反行為（行政的違法行為に関するロシア連邦法典第18.9条、18.15条）

反独占機関が請求する情報の不提供（行政的違法行為に関するロシア連邦法典第19.8条）

防火に関する違法行為（行政的違法行為に関するロシア連邦法典第20.4条）

賃金、年金、奨学金、手当及びその他の不払（ロシア連邦刑法典第145.1条）

著作権、特許権の侵害（ロシア連邦刑法典第146条、第147条）

犯罪手段により得た収益の合法化（洗浄）（ロシア連邦刑法典第174条）

ローンの違法な取得（ロシア連邦刑法典第176条）

債務（判決により確定したもの）の返済の悪意の回避（ロシア連邦刑法典第177条）

競争制限（ロシア連邦刑法典178条）

商品（作品、サービス）の識別手段（商標等）の違法使用（ロシア連邦刑法典第180条）

企業、税務又は銀行の秘密を構成する情報の違法な受領及び開示（ロシア連邦刑法典第183条）

有価証券発行における権限の濫用（ロシア連邦刑法典第185条）

関税支払の回避（ロシア連邦刑法典第194条）

故意破産、架空破産（ロシア連邦刑法典第195条～第197条）

租税法違反（ロシア連邦刑法典第 199 条、第 199.1 条、第 199.2 条）
経営権限の濫用（ロシア連邦刑法典第 201 条）
企業活動に関する賄賂（ロシア連邦刑法典 204 条）

以上

ジュロフ・ロマン
zhurov.roman@uryuitoga.com

弁護士法人 瓜生・米賀法律事務所